2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	高齢者の健康を支える看護	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	10　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	後期	教室名	202・203・実習室
担 当 教 員	谷川　マリ	病棟、外来、手術室、救急など看護師として30年勤務、専任教員として5年勤務			

《科目目標》

加齢変化に伴う健康のとらえ方、人生の最終段階を健やかに生きるために必要な支援を理解する。

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】終講試験80%、課題レポート、授業態度20%
【評価基準　谷川:35点+田村:65点】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

《使用教材(教科書)及び参考図書》

堀内ふき・大渕律子　ナーシング・グラフィカ　老年看護学①　高齢者の健康と障害　MCメディカ出版（デジタル版）
堀内ふき・大渕律子　ナーシング・グラフィカ　老年看護学②　高齢者看護の実践　MCメディカ出版（デジタル版）

《授業外における学習方法》

高齢者の興味関心をもち、加齢について理解を深めておくこと。
毎回の学習は授業以外での準備学習の具体的な内容を参照する。

《履修に当たっての留意点》

加齢に伴う身体的・精神r的・社会的変化を捉え、基礎看護学で学んだ援助を基に高齢者の援助の特徴を考える。超高齢多死社会にある日本の現状と踏まえ高齢者の健康維持のための予防的支援の視点で、既習の社会制度とも関連づけて学ぶ。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者の看護の特性について説明できる ・高齢者看護にかかわる諸理論について説明できる	①教科書P.186-207	高齢者についての諸理論を知れべておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本① 高齢者看護の特性　高齢者看護にかかわる諸理論		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者の看護における倫理的課題について説明dきる	①教科書P.208-221	高齢者をとりまく倫理的問題の現状について調べておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本②　　高齢者看護における倫理		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者のバイタルサインの特徴とアセスメントのポイントを説明できる　・老化と加齢による変化に伴う疾患について説明できる	①教科書P.221-258	高齢者の加齢変化に伴うバイタルサインの変化を復習する。
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本③　高齢者に対するフィジカルアセスメント		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者看護におけるチームアプローチについて説明できる ・高齢者特有のリスクとリスクマネジメントについて説明できる	①教科書P.259-278	転倒リスクの判断指標について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者看護の基本④ 高齢者看護におけるチームアプローチ　高齢者のリスクマネジメント　災害時の高齢者看護		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者のヘルスプロモーションと健康増進プログラムについて説明できる	①教科書P.282-300	ヘルスプロモーションとは何か調べておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者のヘルスプロモーション 高齢者の健康増進　生活習慣予防　転倒予防　認知症予防 健康増進プログラム		